

# ストロンチウム測定を

## 共産党都議団 知事に申し入れ



ストロンチウムの測定について都に申し入れる(左から)あぜ上、たぞえ、吉田、清水、古館の各都議=28日、東京都庁

日本共産党東京都議団は28日、石原慎太郎都知事に対し放射性ストロンチウムの継続的な測定・調査を行うよう申し入れました。

申し入れには吉田信夫、清水ひで子、古館和憲、たぞえ民夫、あぜ上三和子の各都議が参加。首都圏では横浜市で道路側溝の雨水ま

指摘し▽地表土、牛乳、野菜、魚、海底土などについて放射性ストロンチウムの核種分析を速やかに行う▽すでにやっている場合は結果を公表し、今後も継続的によりきめ細かな調査を行う―ことを要請し11月2日までに回答するよう求めました。

市など2カ所です。最高1ピコ当たり129ピコが検出された危険なストロンチウムに対し都民から正確な情報を求める声が高まっていると

放射性ストロンチウム90は半減期29年で、体内に入ると骨や筋肉に蓄積し長期にわたり放射線を出し続け、セシウム以上の危険性が指摘されています。原子力安全・保安院が6月に発表した放射性物質

都知事本局の雑費(さいか)真総務部長は申し入れの趣旨について、放射性物質の測定や除染に関係する各局に伝えるとし、ストロンチウムの測定をすでにやっているかどうかについて「確認したい」とのべました。

放出量データの試算では福島第1原発事故で放出されたストロンチウムは2140兆ピコ。文部科学省の調査で福島第1原発から100ピコ圏内各地で土壌への沈着が確認されています。

放射性ストロンチウム89は半減期約50日、